

## Сайн байцгана уу ?

( 皆さん こんにちは ? )

私の任期も残り1か月を切りました。(帰国日は2/20)

モンゴルはとんでもなく寒いです。外気温は $-30^{\circ}\text{C}$ ですが、部屋の中は室温 $22\sim 26^{\circ}$  ですのでとても暖かいです。

まず初めに、3月19日に玉東町で行われる帰国発表会に、グローバルプログラムと一緒に活動したSさんとともに参加します。皆さんと再会できることを楽しみにしています。

## 活動を振り返って バガノールにある3つの学校をランダ

ムに巡回、6年生から12年生までの物理の授業を見学し、必要に応じて授業の終りの方でその時間の授業の補足説明を行ってきました。モンゴル人のプライドに配慮しつつも、思うようにいかない(アドバイスができない)ときは、動画のSNS発信をするようにしました。ショート動画の閲覧者が多いので、ショート動画を中心に製作しましたが、たった1分以内の動画を製作するのに、数時間かかってましたね。

研究授業は私が行うのではなく、私のアドバイスを受けたモンゴル人教師に行ってもらう予定でしたが、今年度の授業進度が遅れているので、中止としました。物理実験のSNS発信も私が行うのではなく、私のアドバイスを受けた現地教師のモンゴル語による実験指導案なるものを考えていましたが、なかなかお互いの疎通がうまくいかず、結局1年前に製作したもの1つで終わってしまいました。



午後の部、最後の授業終了は18:45



BHで活動する4か国5人です

## 余暇活動について

夏休みや冬休みのときは、モンゴル各地へ長距離バスで移動し、日帰り圏内の山に行っていました。標高2,000mくらいのいわゆる里山はどれも草原地帯ということもあり、視界展望がよく、時々、牛、羊、ヤギ、馬の群れにも遭遇しました。こちらの方もSNS動画配信を行いました。

左の写真はバガノールで活動する4か国5人が中央の女性(米国人)の家に集まり、それぞれが一品の料理を持ち寄って食事会を行った時のものです。私はじゃが芋をメインにした炊き込みご飯を作りました。

写真左から2番目の人(日本の協力隊)は、お好み焼きでした。

## 私の願い 信号機のない横断歩道で歩行者を見かけたときに車が止まる停止率の調査があるのをご存じです

か。日本の全国平均は57%で、何と我が郷里長野県は9年連続一位(87%)で、熊本県は4位で66%だそうです。モンゴルはどうかというと、5%も行かないのでは?と思います。では日本が何故こんなにも停止してくれるのかというと、学校教育の賜ではとされています。車が止まってくれたら歩行者がお辞儀をする、渡り終えてもアイコンタクトまたはお辞儀をすることで、運転手が『何かいいことしたな、また同じような場面に出くわしたなら止まろう!』と思うようです。自分のことより相手を先に優先するという日本の国民性も影響しているらしいです。ここで私は、“モンゴル駄目じゃん”ではなくて、モンゴル通信No.5でも書きましたが、日本の当たり前が世界の当たり前ではないということ。また、今の当たり前も、時が変われば、場所が変われば当たり前ではないかもしれないということです。

理科は自然科学と言われますが、科学=理科ではないです。その証拠に、大学では文学を人文科学、地理・経済・歴史を社会科学と言いますよね。しかし、中学高校の過程において、科学(論理的な思考)ができるのが自然科学つまり理科なんです。昨今は考えさせる授業が日本でも行われにくくなっているのも実情です。この辺のことも踏まえながら、ここモンゴルでも考える授業、実験結果の考察を考えさせる授業を、毎日とは言わないけど、1年に数回は行って欲しいなと希望を抱きつつ、私の活動を終えたいと思っています。

北澤でした。